

平成23年度 定期作況報告

(8月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

I 気象概況

7月下旬：平均気温は平年より0.4℃高く、降水量は平年の7%、日照時間は平年の121%であり、少雨、多照に経過した。

8月上旬：平均気温は平年より1.2℃高く、降水量はほとんどなく、日照時間は平年の149%であり、高温、少雨、多照に経過した。

8月中旬：平均気温は平年より1.1℃高く、降水量は平年の469%、日照時間は平年の115%であり、高温、多雨、多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より1.0℃高く、降水量は平年の133%、日照時間は平年の128%であり、高温、多雨、多照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	26.6	24.9	1.7	29.2	26.5	2.7	27.1	25.9	1.2	27.6	25.7	1.9
最低気温(℃)	16.7	17.2	△ 0.5	19.0	18.8	0.2	18.6	17.8	0.8	18.1	17.9	0.2
平均気温(℃)	21.0	20.6	0.4	23.4	22.2	1.2	22.5	21.4	1.1	22.3	21.3	1.0
降水量(mm)	2.5	35.1	△ 32.6	0.0	45.5	△ 45.5	145.5	31.0	114.5	148.0	111.6	36.4
日照時間(hr)	63.6	52.5	11.1	78.4	52.7	25.7	62.1	54.1	8.0	204.1	159.3	44.8

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成13～22年の10ヶ年平均値を農試が算出し、使用。

表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作 況

5月20日 やや不良

事由:播種は平年並の4月18日に行った。播種後4月下旬は寡照に経過し、ハウス内の温度が上昇しにくく、出芽まで7日を要し、揃いもやや悪かった。その後も低温、寡照に経過した。移植はほぼ平年並の5月20日に行った。

移植時における苗は、茎数は平年と比べ「きらら397」、「ほしのゆめ」がそれぞれ0.1本、0.2本少なく、葉数も0.2枚、0.3枚少なかった。また、草丈はそれぞれ平年比111%、103%、地上部乾物重は105%、93%であり、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)はそれぞれ平年比95%、90%と、平年を下回った。

以上により、5月20日時点の作況は、やや不良である。

6月20日 やや不良

事由:移植後の気温および日照時間は平年並に経過し、活着は平年並であった。しかし、苗質が悪かったため、分けつの発生が遅れた。すなわち、6月20日における草丈は、平年対比で「きらら397」、「ほしのゆめ」がそれぞれ107%、103%で平年並から平年をやや上回り、主稈葉数は平年並から平年よりやや多かった。しかし、茎数はそれぞれ74%、78%と平年を下回った。

以上により、6月20日時点の作況はやや不良である。

7月20日作況 やや不良

事由:7月上旬以降高温に推移したため幼穂形成期以降の生育は大きく進んだ。すなわち、幼穂形成期は、「きらら397」、「ほしのゆめ」がともに平年並であったが、止葉始は両品種ともに5日早かった。7月20日における草丈は、平年対比で「きらら397」、「ほしのゆめ」がそれぞれ104%、103%と平年並で、主稈葉数は平年並からやや上回った。しかし、茎数は回復せず、それぞれ82%、79%と、平年を大きく下回った。

以上により、7月20日時点の作況は、やや不良である。

8月20日作況 やや不良

事由:7月5半旬は低温気味であったが、7月6半旬以降は高温に推移し、出穂期は、「きらら397」、「ほしのゆめ」でそれぞれ2日、3日早かった。稈長は、平年対比で「きらら397」、「ほしのゆめ」がそれぞれ97%、94%と平年よりやや短く、穂長は102%、101%と平年並であった。一方、穂数は「きらら397」で平年の88%、「ほしのゆめ」で平年の87%で平年を下回った。

以上により、8月20日時点の作況は、やや不良である。

品種名 項目 \ 年次		きらら397 中苗			ほしのゆめ 中苗			ななつぼし 中苗(参考)		ゆめぴりか 中苗(参考)
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	(前5ヶ年)	本年
播種期	(月.日)	4.18	4.18	0	4.18	4.18	0	4.18	4.18	4.18
移植期	(月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.21	△ 1	5.20	5.21	5.20
幼穂形成期	(月.日)	7.07	7.07	0	7.06	7.06	0	7.05	7.04	7.06
止葉始	(月.日)	7.17	7.22	△ 5	7.15	7.20	△ 5	7.13	7.18	7.15
出穂期	(月.日)	8.01	8.03	△ 2	7.31	8.03	△ 3	7.29	8.02	7.29
成熟期	(月.日)		9.22			9.19			9.20	
穂揃日数	(日)	6.0	5.6	0.4	7.0	6.0	1.0	7.0	6.2	7.0
出穂まで日数	(日)	105	107	△ 2	104	107	△ 3	102	106	102
生育日数	(日)		157			154			155	
移植時地上部乾物重(g/100本)		2.06	1.96	0.10	1.98	2.13	△ 0.15	1.94	2.17	1.92
草丈 (cm)	移植時	10.5	9.5	1.0	10.4	10.1	0.3	10.3	9.8	9.6
	6月20日	24.2	22.6	1.6	24.1	23.5	0.6	25.3	25.1	25.2
	7月20日	61.7	59.1	2.6	63.1	61.4	1.7	70.3	66.3	68.5
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.1	△ 0.1	1.0	1.2	△ 0.2	1.0	1.0	1.0
	6月20日	235	317	△ 82	253	326	△ 73	270	315	250
	7月20日	680	829	△ 149	705	887	△ 182	710	811	728
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.0	3.2	△ 0.2	2.8	3.1	△ 0.3	2.8	3.1	3.1
	6月20日	7.0	6.7	0.3	6.6	6.4	0.2	6.8	6.7	7.2
	7月20日	10.9	10.5	0.4	10.2	10	0.2	10.1	10.3	10.8
	止葉	11.0	11.0	0.0	10.2	10.3	△ 0.1	10.1	10.4	10.8
稈長	(cm)	63.5	65.5	△ 2.0	64.2	68.5	△ 4.3	69.0	69.1	67.0
穂長	(cm)	16.7	16.4	0.3	15.6	15.5	0.1	17.0	16.5	16.5
穂数	(本/m ²)	618	706	△ 88	673	774	△ 101	670	714	683
一穂粒数	(粒)		48.5			44.0			54.6	
m ² 当粒数	(百粒)		342			341			390	
稔実歩合	(%)		88.5			89.5			84.0	
登熟歩合	(%)		77.6			78.7			76.1	
籾摺歩合	(%)		75.3			70.8			75.2	
屑米歩合	(%)		9.3			15.6			10.0	
千粒重	(g)		22.9			21.8			21.4	
わら重	(kg/a)		61.9			66.9			72.4	
精籾重	(kg/a)		77.2			75.8			74.3	
精玄米重	(kg/a)		58.1			53.7			55.9	
収量平年対比	(%)		100			100		-	100	-
検査等級			2上	-		2上	-		2上	

注1)「きらら397」の平年値は前7ヶ年中、平成20年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2)「ほしのゆめ」の平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注3)平成18年より「ななつぼし」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注4)平成21年より「ゆめぴりか」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注5)耕種概要

土 壤 :細粒グライ土

施 肥 :高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播 種 量 :中苗紙筒=180cc/箱

栽植密度 :30×13.3cm 25株/m² 4本植え

移植方法 :手植え

反 復 :2

注6)刈り取り面積は一区3.6m²、精籾重、精玄米重は水分15%換算値を、篩目は1.9mmを使用した。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より0.2℃高く、降水量は平年の0%、日照時間は平年の137%であり、少雨、多照に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より1.1℃高く、降水量は平年の4%、日照時間は平年の161%であり、高温、少雨、多照に経過した。

8月中旬:平均気温は平年より1.0℃高く、降水量は平年の475%、日照時間は平年の106%であり、高温、多雨に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.8℃高く、降水量は平年の125%、日照時間は平年の134%であり、多雨、多照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目 \ 時期	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	26.0	24.7	1.3	29.0	26.4	2.6	26.8	25.8	1.0	27.2	25.6	1.6
最低気温(℃)	15.7	16.6	△0.9	18.2	18.3	△0.1	17.8	17.3	0.5	17.2	17.4	△0.2
平均気温(℃)	20.3	20.1	0.2	22.8	21.7	1.1	22.0	21.0	1.0	21.7	20.9	0.8
降水量(mm)	0.0	40.2	△40.2	2.0	45.4	△43.4	142.0	29.9	112.1	144.0	115.5	28.5
降水日数(日)	0.0	3.4	△3.4	1.0	2.8	△1.8	7.0	2.9	4.1	8.0	9.1	△1.1
日照時間(hr)	62.4	45.7	16.7	73.3	45.6	27.7	50.7	47.7	3.0	186.4	139.0	47.4

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。中央農試で算出。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) △は減を示す。

1. 秋まき小麦(平成22年播種)

平成22年9月20日作況：平年並

事由：播種期は9月17日で平年値より3日遅いが、安定した越冬のために必要な生育の確保には問題が無い播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成22年10月20日作況：平年並

事由：播種期が平年より3日遅く、出芽期は平年より2～3日遅かったが、出芽は良好であった。10月上旬以降は気温が平年より高く経過し、生育が順調である。「ホロシリコムギ」の茎数が平年よりやや少ないが、「ホロシリコムギ」の草丈および「ホクシン」の茎数、草丈は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成23年5月20日作況：やや不良

事由：播種期、出芽期は平年より2～3日遅く、越冬前の茎数は「ホロシリコムギ」で平年よりやや少なかったが、越冬態勢としては十分であった。根雪終は平年より8日遅い4月4日（融雪剤散布）で、雪腐病による冬損程度および越冬後の茎数は、ほぼ平年並であった。4月下旬以降、多雨、寡照で推移し、5月上旬の気温は平年より1.9℃、中旬は1.4℃低く推移した。5月20日現在で両品種とも草丈は平年より7cmほど低く、茎数は平年より100本/m²程度少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成23年6月20日作況：やや不良

事由：5月中旬まで生育の進展は緩慢であった。5月下旬以降、平均気温は平年並に推移したが、出穂期が平年より2日遅れた。6月20日現在で草丈はほぼ平年並で、茎数が平年より60～90本/m²程度少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成23年7月20日作況：やや不良

事由：7月に入り平均気温は高く推移し、降水量は平年を大きく上回った。7月4日の強風を伴う降雨により倒伏が発生し、その後も降雨のたびに倒伏が拡大し、耐倒伏性の劣る「ホロシリコムギ」では倒伏程度が平年より大きくなった。成熟期は「ホクシン」で平年より1日遅く、「ホロシリコムギ」は達していない。稈長は「ホクシン」が平年並、「ホロシリコムギ」が平年よりやや短く、穂長は両品種とも平年並であったが、穂数は110～140本/m²少なかった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成23年8月20日作況：不良

事由：成熟期は「ホクシン」で1日遅く、「ホロシリコムギ」で1日早かった。子実重は、「ホクシン」で平年比93%、「ホロシリコムギ」で平年比75%といずれも低収となった。7月上旬から発生した倒伏の影響もあり、子実の充実は不良となり、千粒重、リットル重ともに平年を下回った。また、成熟期前の降雨の影響により「ホクシン」の一部では穂発芽粒が認められた。

以上により、現在の作況は不良である。

項目 \ 年次	品種名	ホクシン			ホロシリコムギ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H22.月.日)	9.17	9.14	3	9.17	9.14	3
出芽期	(H22.月.日)	9.22	9.20	2	9.23	9.20	3
出穂期	(H23.月.日)	6.8	6.6	2	6.12	6.10	2
成熟期	(H23.月.日)	7.20	7.19	1	7.24	7.25	△ 1
冬損程度	(0:無~5:甚)	1.5	1.8	△ 0.3	1.3	1.3	0.0
草丈 (cm)	H22.10.20	24.6	24.0	0.6	24.3	23.8	0.5
	H23.5.20	44.6	51.1	△ 6.5	45.9	53.2	△ 7.3
	H23.6.20	103.5	101.0	2.5	106.3	105.9	0.5
茎数 (本/m ²)	H22.10.20	1004	1025	△ 22	882	934	△ 52
	越冬前(11月)	1419	1531	△ 112	1250	1394	△ 144
	越冬後(4月)	1747	1630	117	1542	1604	△ 62
	H23.5.20	1108	1212	△ 104	1126	1237	△ 111
	H23.6.20	676	735	△ 59	629	717	△ 88
成熟期に おける	稈長 (cm)	93.3	94.5	△ 1.3	99.2	104.1	△ 4.8
	穂長 (cm)	8.8	8.8	0.0	8.4	8.7	△ 0.3
	穂数 (本/m ²)	586	698	△ 111	493	636	△ 143
倒伏程度	(0:無~5:甚)	1.3	1.8	△ 0.5	3.6	2.8	0.8
子実重	(kg/10a)	540	581	△ 40	446	598	△ 152
リットル重	(g)	784	801	△ 17	776	790	△ 14
千粒重	(g)	34.9	37.8	△ 2.9	40.4	43.3	△ 2.9
品質	(等級)		2等			2等	
子実重 平年対比	(%)	93	100	△ 7	75	100	△ 25

注1) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、平成19年(最豊)を除く
5か年平均(収穫年度)。

注2) △は平年より早、短、少を表す。(※以降の作物においても同様)

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

2. 春まき小麦

5月20日作況：やや不良

事由：融雪剤使用圃場の根雪終は平年より8日遅い4月4日であった。その後降雨が比較的少なく、圃場の乾燥が順調に進んだため、播種は平年より1日早い4月14日に行った。播種後、20mm以上の降水日が4日あったことから土壌がややクラスト状となり、出芽期は平年より1日遅い4月29日となった。出芽後は低温に経過したことから生育は緩慢で、草丈は平年より低く、茎数は分けつの発生が始まったばかりのため平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

6月20日作況：やや不良

事由：5月下旬以降、平均気温は平年並で推移したが、降水量は平年を大きく下回り、調査圃場はやや干ばつ気味となった。草丈は平年を大きく下回り、茎数は平年並から少なく、分けつの無効化が進んでいる。6月20日に両品種とも出穂始に達し、出穂期は平年より2日程度遅れる見込みである。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日作況：やや不良

事由：出穂期は平年より1～2日遅い6月22日であった。6月下旬以降、降水量は平年より多く、多湿傾向で推移し、平均気温は7月に入り高温に推移したため、赤かび病の発生が散見される。穂長は概ね平年並であったが、稈長は平年よりやや短く、穂数は平年より40本/m²程度少ない。倒伏は両品種ともに発生していない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日作況：不良

事由：7月下旬の平均気温は平年並に推移し、成熟期はほぼ平年並であった。登熟日数は平年並であったが、前節の報告のとおり、稈長および穂数は平年を下回り、生育が小出来であり、一穂粒数および千粒重も平年を下回った。このため、子実重は平年比66～69%であり平年を大きく下回った。収穫期は好天が続いたため発芽率はほぼ皆無であったが、赤かび粒や開溝粒の発生があり外観品質はやや劣っている。

以上により、現在の作況は不良である。

項目 \ 年次	品種名	ハルユタカ			春よ恋		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.14	4.15	△ 1	4.14	4.15	△ 1
出芽期	(月.日)	4.29	4.28	1	4.29	4.28	1
出穂期	(月.日)	6.22	6.21	1	6.22	6.20	2
成熟期	(月.日)	8.03	8.02	1	8.02	8.01	1
草丈	5月20日	13.5	21.2	△ 7.7	15.2	21.1	△ 5.9
(cm)	6月20日	66	80	△ 14	69	83	△ 14
茎数	5月20日	370	562	△ 192	375	642	△ 267
(本/m ²)	6月20日	621	726	△ 105	708	729	△ 21
7月20日	稈長 (cm)	84	88	△ 4	91	97	△ 6
または	穂長 (cm)	8.6	8.5	0.1	8.8	8.5	0.3
成熟期	の 穂数 (本/m ²)	430	473	△ 43	458	502	△ 44
子実重	(kg/10a)	310	451	△ 141	357	539	△ 182
一穂粒数	(粒)	28.1	31.0	△ 2.9	29.0	33.6	△ 4.6
千粒重	(g)	34.9	38.4	△ 3.5	37.6	40.0	△ 2.4
リットル重	(g)	789	800	△ 11	806	814	△ 8
品質	(等級)	2			2		
子実重平年対比 (%)		69	100	△ 31	66	100	△ 34

注) 平年値は前7カ年中、平成19年(最豊)、平成22年(最凶)を除く5カ年平均。

一穂粒数は、各反復で有効穂を50穂調査。リットル重は1リットル升による測定。

3. 大豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より2日早い5月20日で、出芽期は平年より1日早かった。各品種とも主茎長はやや長いものの、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：7月上中旬は高温に経過し、開花期は「ツルムスメ」で5日、「トヨムスメ」で4日早かった。主茎長、主茎節数および分枝数は概ね平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや不良

事由：開花期は「ユウヅル」で1日、「スズマル」で2日早かった。7月下旬から8月上旬にかけて、最高気温が平年より高く推移した一方で降雨がほとんど無く、干ばつ気味に経過した。このため生育が停滞し、主茎長は各品種とも平年を下回っている。分枝数は、「ユウヅル」と「トヨムスメ」が平年より多く、「ツルムスメ」と「スズマル」は平年より少ない。主茎節数と着莢数は、「ツルムスメ」が平年並であるが、その他の品種は平年をやや下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名 項目 \ 年次		ツルムスメ			ユウヅル			トヨムスメ			スズマル		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.20	5.22	△ 2	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	6.02	6.03	△ 1	6.02	6.03	△ 1	6.02	6.03	△ 1	6.01	6.03	△ 2
開花期	(月.日)	7.14	7.19	△ 5	7.27	7.28	△ 1	7.13	7.17	△ 4	7.22	7.24	△ 2
成熟期	(月.日)		9.29			10.13			9.25			9.27	
主茎長 (cm)	6月20日	10.0	8.6	1.4	10.9	8.7	2.2	13.2	9.6	3.6	9.4	7.3	2.1
	7月20日	48.5	48.5	0.0	44.3	44.6	△ 0.3	46.7	50.1	△ 3.4	39.2	40.1	△ 0.9
	8月20日	54.8	58.3	△ 3.5	73.1	83.4	△ 10.3	52.9	61.2	△ 8.3	56.3	67.3	△ 11.0
	9月20日		57.5			82.9			61.5			67.4	
	成熟期		58.0			83.4			61.4			68.4	
主茎節数 (節)	6月20日	3.1	3.1	0.0	3.1	3.1	0.0	3.1	3.0	0.1	3.3	3.0	0.3
	7月20日	12.3	11.7	0.6	11.6	11.6	0.0	9.6	9.7	△ 0.1	12.1	11.7	0.4
	8月20日	12.3	12.4	△ 0.1	14.7	15.5	△ 0.8	9.8	10.3	△ 0.5	13.3	14.2	△ 0.9
	9月20日		12.4			15.3			10.4			14.0	
	成熟期		12.4			15.6			10.4			14.1	
分枝数 (本/株)	7月20日	6.5	6.4	0.1	4.5	3.8	0.7	6.6	5.7	0.9	8.8	8.2	0.6
	8月20日	5.7	6.8	△ 1.1	5.2	4.5	0.7	6.7	6.3	0.4	9.6	10.9	△ 1.3
	9月20日		7.1			5.0			6.5			10.7	
	成熟期		6.8			4.0			6.3			10.0	
着莢数 (莢/株)	8月20日	52.7	53.1	△ 0.4	44.6	47.9	△ 3.3	67.2	74.0	△ 6.8	138.1	144.0	△ 5.9
	9月20日		49.0			55.5			64.5			120.8	
	成熟期		48.1			52.9			62.3			113.7	
一莢内粒数		1.74			1.70			1.77			2.41		
子実重 (kg/10a)		326			339			362			323		
百粒重 (g)		49.1			47.2			40.2			15.4		
屑粒率 (%)		2.8			2.9			1.5			1.1		
品質 (等級)		3上			3下			3中			2中		
子実重平年対比 (%)		100			100			100			100		

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

4. 小豆

6月20日作況：やや不良

事由：播種期は平年並の5月25日であった。播種後が少雨に経過したため、出芽期は平年より4日遅くなった。出芽期が遅れたため、現在のところ主茎長、主茎節数ともに平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日作況：やや不良

事由：7月に入り高温に経過し、適度な降雨に恵まれた。この結果、主茎長は平年並みとなったが、本葉数が平年よりやや少なく、分枝数は平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日作況：不良

事由：開花期は平年より1日早かった。前節以降、7月下旬から8月上旬にかけて、最高気温が平年より高く推移した一方で降雨がほとんど無く、干ばつ気味に経過した。このため生育が停滞し、主茎節数は平年並であるが、主茎長が平年より短く、分枝数も少ない。上位節の落莢が観察され、着莢数は平年より少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモショウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.25	5.25	0
出芽期	(月.日)	6.14	6.10	4
開花期	(月.日)	7.22	7.23	△ 1
成熟期	(月.日)		9.06	
主茎長 (cm)	6月20日	3.1	4.1	△ 1.0
	7月20日	23.7	23.8	△ 0.1
	8月20日	47.3	71.1	△ 23.8
	成熟期		71.5	
主茎節数 (節)	6月20日	1.1	1.7	△ 0.6
	7月20日	8.7	9.3	△ 0.6
	8月20日	13.4	13.5	△ 0.1
	成熟期		13.6	
分枝数 (本/株)	7月20日	3.4	4.5	△ 1.1
	8月20日	3.1	5.1	△ 2.0
	成熟期		4.7	
着莢数 (莢/株)	8月20日	42.2	57.8	△ 15.6
	成熟期		56.1	
一莢内粒数			5.74	
子実重	(kg/10a)		307	
百粒重	(g)		12.4	
屑粒率	(%)		2.4	
品質	(等級)		3上	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成20年(最豊)、平成18年(最凶)を除く5カ年平均。

注2) 子実重および百粒重は子実水分15%に補正後の数値。

5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年は根雪終が平年より9日遅い4月10日（融雪剤無散布）で、4月下旬は多雨・寡照に推移したが、植付期は平年より5日早い4月27日であった。5月上旬は低温・多雨・寡照に推移し、5月20日現在で一部萌芽は始まっているものの、萌芽期には至っていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：植付は平年より5日早く、その後、低温で推移したが萌芽期は平年より2日早い5月24日であった。5月下旬以降、好天に推移しており、6月20日現在で茎長は平年をやや下回るが、茎数はやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成23年7月20日作況：平年並

事由：7月に入り、高温多雨に推移し、開花始は平年より1日早かった。茎長、茎数はほぼ平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成23年8月20日作況：やや不良

事由：8月20日現在で枯凋期には達していない。上いも数は平年より3.2個少なく、上いも平均一個重は20g重い。上いも重は平年より212kg少なく、でん粉価はほぼ平年並である。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.27	5.2	△ 5
萌芽期	(月.日)	5.24	5.26	△ 2
開花始	(月.日)	6.22	6.23	△ 1
枯凋期	(月.日)		8.24	
茎長	6月20日	30	34	△ 4
(cm)	7月20日	46	48	△ 2
茎数	6月20日	5.1	4.5	0.6
(本/株)	7月20日	4.3	4.6	△ 0.3
8月20日における				
上いも数	(個/株)	10.0	13.2	△ 3.2
上いも平均一個重	(g)	103.2	83	20
上いも重	(kg/10a)	4592	4804	△ 212
でん粉価	(%)	14.7	14.5	0.2
枯凋期における				
上いも数	(個/株)		13.2	
上いも平均一個重	(g)		84	
上いも重	(kg/10a)		4877	
中以上いも重	(kg/10a)		4009	
でん粉価	(%)		14.4	
上いも重平年対比	(%)		100	
中以上いも重	" (%)		100	
でん粉価	" (%)		100	

注) 平年値は前7か年中、平成18年(最凶)、19年(最豊)を除く5か年平均
「上いも」は21g/個以上、「中以上いも」は61g/個以上。

耕種概要

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

	一区面積 (m ²)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/m ²)	株数 (株/10a)
秋まき小麦	7.2	4	ひまわり	30	条播	—	255	—
春まき小麦	7.2	4	ひまわり	30	条播	—	340	—
大豆	8.4	3	デントコーン	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	えん麦	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	ひまわり	75	30	—	—	4,444

	10a当たり施肥量(kg)				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
秋まき小麦	4.0+6.0	12.5	5.0	—	—
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—
大豆	1.5	11.0	7.5	3.5	—
小豆	4.0	19.2	9.2	2.4	—
ばれいしょ	10.4	16.8	14.0	—	1,000

中央農試作況報告について

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。